

工業「実習」	単位数	4単位
	学科・学年	土木科・第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	座学で学んだ知識をいかし、作業内容及び手順、器械・器具の取り扱い方法などの技術を身に付ける。また、班の中で自分の責任を理解し、協力して実習を行うことのできる、協調性を培う。
使用教科書・副教材等	測量（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
1 学期	1 材料実験 (1) セメントの試験 (2) 骨材の試験 (3) コンクリートの試験	4	・各種の試験の結果が、工事の成否に大きな影響を与えることを理解する。 ・試験の目的、実施方法、器械・器具の取り扱い方法について理解する。	
		5		
		6		
		7		
2 学期	2 トラバース測量 (1) トラバース測量の外業 (2) トラバース測量の内業 (3) 面積計算 (4) 単心曲線設置	8	・計算方法を正確に理解し、トラバース測量が、細部測量などの一連の作業につながっていることを理解する。	
		9		
		10		
		11		
3 学期	3 水準測量 (1) 器高式水準測量 (2) 環路線水準測量	1	・器械操作、作業手順、野帳の記入が正確にでき、他の者との協力体制のもとに、作業中の問題点に対応できる判断力を身に付ける。 ・内容に応じて適切な計算ができる能力を身に付ける。	
		2		
		3		

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	・社会基盤における測量の役割と技術について関心を持ち、その知識と技術の習得に意欲的に取り組んでいるか。
思考・判断・表現	・測量に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、他の者との協力体制のもと、自ら考え、作業中の問題点に対応できるか。
技能	・作業内容及び手順、器械・器具の取り扱い方法などの技術を身に付け、計算方法を正確に理解し、成果を適切に表現できているか。
知識・理解	・実習内容が、どのような場面において役立つのか理解しているか。 ・土木工事の社会における意義や役割を理解しているか。
<ul style="list-style-type: none"> ・学習の状況は、上記の4つの観点で評価します。 ・実習野帳、計算書や実習図面等で総合評価します。 ・各学期の成績は以上の観点から評価し、100点法で行います。 ・学年末の成績は各学期の成績を総合的に判断し5段階評定で行います。 	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・安全に作業するには「きまり」を守り、作業に適した服装を着用してください。 ・作業をするにあたって、気持ちを集中させ、真剣に取り組んでください。 ・測量器械は精密なので、ていねいに取り扱いましょう。
